

令和6年10月3日

報道関係者各位

マグミット製薬株式会社
代表取締役社長 木下幸治

株式会社BTB 創薬研究センターとの共同開発開始のお知らせ

マグミット製薬株式会社（本社 香川県木田郡三木町、代表取締役社長 木下幸治 以下、マグミット製薬）と株式会社BTB 創薬研究センター（本社 京都府京都市左京区、代表取締役 Takashi Kiyozumi 以下、BTB 創薬研究センター）との共同開発契約書を令和6年7月5日付で締結しました。キックオフ会議にあたる第1回サイエンスミーティングを令和6年9月9日に開催し、共同開発を本格始動しました。

BTB 創薬研究センターは、京都大学大学院医学研究科（萩原正敏特任教授）発のベンチャーです。希少疾患（ファブリー病）の治療薬となる開発候補化合物（RECTAS2.0）の知財を保有しています。

マグミット製薬は、オープンイノベーションの積極的活用と独自性・進取性の高い研究開発の推進を経営方針の1つに定めています。その中でも、京都大学の萩原先生が発見されたRECTAS2.0に大きな可能性を感じており、患者様のもとへ1日でも早くお届けできるよう、一丸となって、医薬としての磨きをかけていく所存です。

RECTAS2.0の発明者であるBTB 創薬研究センターの萩原正敏取締役（京都大学大学院医学研究科特任教授）は「四半世紀にわたるRNA スプライシングの基礎研究の成果をもとに見出された新規合成化合物 RECTAS2.0 は、心ファブリー病など希少な遺伝病の治療薬となり得ると考えています。従来の薬剤と異なり、遺伝情報をもとに発症前から飲んで頂くことで、難病を発症させない、世界初の先制治療薬になる可能性があります。本共同開発によって、実用化が加速されることを心から期待しています。」と先進治療への期待を語っています。

また、BTB 創薬研究センターの大菊鋼取締役（研究開発担当）は「RNA スプライシング制御薬 RECTAS2.0 は治療薬の存在しない各種遺伝病患者様にとって福音となるポテンシャルの高い医薬品候補化合物です。BTB 創薬研究センターはその独占的実施許諾を保有しており、まずは、ファブリー病治療薬として迅速に開発を進め、その後、その他の遺伝病に適応拡大する方針です。この共同開発契約により、マグミット製薬という強力な共同開発パートナーを得られたことで、一層の加速化が図られると期待しています。」と、語っています。

【本件に関するお問い合わせ】

マグミット製薬株式会社
研究開発本部 大野 道博（おおの みちひろ）
TEL：087-891-1000
FAX：087-891-1191
E-mail：press@setolas.co.jp

以上